

## 井上明夫新聞 ～日田市議会だより～

春になり過ごしやすい季節になりました。

早いもので一昨年の豪雨災害から2年が経過しようとしています。復旧工事はかなり進んできましたが、近年の全国的な自然災害の多発を見ると、これまでの常識を超える事態が起きています。今後は道路や河川の整備の根本的な考え方の見直しも必要だと考えます。

また、3月議会で制定された「議会基本条例」の精神に基づき、「開かれた議会」を目指し、今年も市内20公民館で「議会報告会」を開催します。多くの皆様のご参加をよろしく願います。



### 3月議会の結果

3月議会では26年度一般会計当初予算案（総額375億8千万円）や2月の大雪被害に対する大分県の補助金に市が6500万円を上乗せする25年度補正予算案など39議案を可決しました。

また、静修小学校の跡地に建設中であった、通称「静修館」（大鶴公民館兼大鶴振興センター）は3月議会で移転の手続きが正式に決定しました。旧静修小の後に閉校した校舎の跡地利用も、積極的に推進していかなければなりません。

### 井上明夫の一般質問

## 中央公民館(文化センター)の改築は慎重に！！

日田市は中央公民館を博物館と美術館並びに収蔵庫を兼ね備えた複合文化施設に改築し、貸館業務をほぼ廃止する事業案を昨年9月に示していましたが、利用者団体との協議を十分に行わないまま計画を発表したため反発を買い、基本計画の見直しを行っています。

今回の一連の動きを見ていると、ハード面（博物館の老朽化や寄贈された美術品の保管場所が確保）の都合が優先された結果、中央公民館は生涯教育の拠点施設であるという視点が抜け落ちていたのではないのでしょうか？

【質問】 日田市は生涯学習に対してどのようなビジョンを持って今回の計画を進めようとしているのか？

【教育次長】 中央公民館の生涯学習の機能が20ヶ所の地区公民館に移行していると思うが、全市的なものについてはこれまでどおり中央公民館でやっていく。

【質問】 これまでの中央公民館の利用団体や、中央公民館の調理室を利用して活動して来た食生活推進協議会（食推協）をどのように位置づけているか？

